

海岸林再生プロジェクトに参加して

今海岸林にクロマツの植林が

東日本大震災では多くの尊い命と失われ、ふるさとの原風景であり、生活の土壌である海岸林が大きな被害を受けました。今、宮城県名取市を中心に、海岸林にクロマツと植林による活動が、おスカタ地区の人達で進められています。

2020年まで100本、50万本の植林が目標ですが、今年まで15本、75000本が植えられました。私達も20名で参加してきました。その参加の中で多くの学びと気づきを得てきましたし、とても楽しい活動でした。

復興にはいかに遠い現実も

しかし現地では、まだ震災の爪痕が生々しく残っています。特に新聞やテレビでもよく紹介された開け地区は居住禁止区域となっていて、誰も住めず壊れた家や学校が、そのままだけに残っています。地域のコミュニティーは崩壊したままでまだ復興にはいかに遠い現実を目の当たりにします。

震災から3年経ち、社会全体では目まぐるしく動きが起きている。除けられた痛みが風化してしまっていますが、現地では時間が経てば解決することはありません。

そのお祭りについて

3年前私達の主催するNPO法人グリーングラスプロジェクトで陸前高田市へガシキ捨てに行きつづけることです。被災地の人達が「お水だけお水をアガしてほしいのでは無いが、何回も来てほしい」「私達を忘れないでほしい」と言われました。帰りのバスの前下り入の老入が近寄ってきて、涙を流して「お水ください」と私達を忘れません。

海岸林の再生も緒付が長いことですが、来年も被災地へ来ると約束して帰途に着きました。お水も被災地でお祭りをしていきたいと思います。